

第2回川西町障害者計画等策定委員会 議事録

開催日時	令和5年11月14日（火）午後2時00分開会～午後3時30分閉会
開催場所	川西町保健センター1階集団指導室
会長	森田委員
出席者	伊藤委員、石井委員（北村委員代理）、安井委員、吉村委員、 山岡委員、松村委員、松波委員、廣田委員、坂本委員、 川北委員、吉野委員、橋本委員、森田委員 (以上13名)
欠席者	2名（池田委員、高橋委員）
事務局	川西町福祉子ども課 中森課長 大野課長補佐
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 川西町第4次障害者計画／第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回策定委員会の振り返り（第1章～第3章） ・第4章 障害者福祉施策の方向と展開（第4次障害者計画） ・第5章 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 ・第6章 計画の推進のために <p>(2) その他</p> <p>3. 閉会</p>
資料	○川西町第4次障害者計画 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 素案 11/7時点

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>1. 開会</p> <p>○開会あいさつ ○配布資料確認 ○各委員紹介（変更委員のみ）</p>
会長	<p>2. 議事</p> <p>はじめに、前回と同様策定委員会の議事録要旨については公開とし、町のホームページで掲載する。 公表議事録については、発言の自由を担保するため、委員の氏名は匿名とする。 議事録の署名委員は前回同様、伊藤委員、吉村委員にお願いする。</p> <p>（1）川西町第4次障害者計画／第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（素案）について ・第1回策定委員会の振り返り（第1章～第3章）</p>
会長	<p>それでは、議事を進める。議事（1）の「第1回策定委員会の振り返り」について、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>○資料「川西町第4次障害者計画 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 素案 11/7時点」に基づき、第1章～第3章について説明</p>
会長	<p>何かご質問、ご意見等はあるか。</p>
委員	<p>35 ページ基本目標4の2つ目の丸に「障害等の早期発見に向け、訪問や乳幼児健康診査等の機会を通じて発達状況、聴力・視力等の状態を確認し、必要に応じて適切な治療に繋げるための情報提供を行いました。」とあり、下の課題の一番上と繋がってくると思う。「障害等」という言葉だけだと、障害があることだけと受け取られかねないのではないかと。例えば、「障害や疾病等の理由で～」としてはどうか。言葉の内容から乳幼児期ぐらいのイメージがあるので、保健師または医療機関のことを考えると、乳幼児期に関する後天的なものも入れてもらえればと思った。</p>

事務局	ご指摘のとおりである。修正の上、次回改めて修正案を出したい。
会長	他に何かあるか。 他に質問等がないようなので、次に進みたい。 ・第4章 障害者福祉施策の方向と展開（第4次障害者計画）
会長	続いて、第4章について事務局より説明願いたい。
事務局	○資料「川西町第4次障害者計画 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 素案 11/7時点」に基づき、第4章について説明
会長	何かご質問、ご意見等はあるか。
委員	53ページの「①早期療育の推進」に「ペアレントトレーニングや親子教室等を開催し」とあるが、35ページの【課題】に「集団療育やペアレントトレーニングに参加する親子の減少傾向がみられる」とある。参加人数が減っているが、その要因として考えられることを教えてほしい。
事務局	町全体として少子化が進み、出生率がかなり低くなっている。そのため、対象児童自体の減少がまず一点あると思う。あと、川西町の特徴として未就学児は早期から保育所等に預ける場合が多く、現在の開催曜日や時間では保育所等に預けていない保護者が対象になるため、対象者数が少ない。保健センターから積極的に勧奨しているが、一度受けたのでもういいと言われる方もいる。開催曜日や時間は改善の余地があると思うので、今後の課題として検討したい。
会長	他に何かあるか。
委員	先ほどの意見と同様になるが、53ページの「①早期療育の推進」にも「障害や疾病等」を追加してほしい。 「②医療サービスの充実」の2つ目の丸は、保健師が出てくるので児童向けのイメージがある。この計画では、成人期の医療サービスにあまり触れられていない感じが見受けられる。例えば、成人期に在宅で医療サービスを受けつつ、どういう日常生活を送っていくか、医療的ケアが必要になって退院してきた方への支援等の記載があればいいと思う。病院の地域医療連携室との連携や、医療に詳しい地域の障害児（者）等に対する相談支援員の育成もお願いしたい。

委員	<p>46 ページ「(1) 生活支援の推進」について。両親がコロナに罹患した場合、子どもをどうするか、事業所は閉まっているし相談支援員とも連絡が取れない時にどうすれば良いのか。そのことについて磯城郡地域自立支援協議会で協議したところ、日頃利用している事業所と連絡が取れば利用できるという契約をしていただいたことは感謝している。ただ、今は1つの事業所だけなので、地域全般に広げて増やしていくことが今後の課題だと思う。</p> <p>その下に「サービスを受ける必要がないため」が6割を超え」とあるが、身体・知的・精神それぞれのニーズが違う。身体障害者の方は7割がた自分で判断できるので、サービスを受ける必要がないと言われるが、知的障害者の場合はそれなりの支援を受けて地域で暮らしていけるところがある。</p> <p>53 ページの「②医療サービスの充実」について。我が家の場合は40歳を超えていて、特定健診は毎年保健センターから案内がきたら受けている。がん検診の受診対象年齢になるとがん検診も受けさせたいが、バリウム等の一般の健診はできない。そういう時にどういう検査があるのか、案内があれば嬉しい。</p>
事務局	<p>まず、先にいただいた委員のご意見（「障害や疾病等」を追加）は先ほど同様に修正案を次回提案したい。</p> <p>「②医療サービスの充実」については、例えば「医療機関、ケースワーカー、障害者相談支援員による相談支援体制の強化に努める」、「地域医療連携室との連携」等、医療との連携について明確になるよう追記したい。</p> <p>併せて委員からいただいたご意見、バリウムの件については、いただいたご意見も含めて、医療機関等の配慮について追記したい。</p> <p>46 ページの「6割を超え～」のところについて、文言を修正したい。</p>
会長	<p>他にあるか。</p>
委員	<p>55 ページの「⑧体験学習・現場実習の実施」に「特別支援学校の生徒を対象に郊外での社会体験学習や職場実習を実施する」とあるが、これは学校以外の時間や場所で具体的なことを考えていただいているという理解で良いのか。</p>
事務局	<p>事務局としては、学校教育のところで検討を考えていた。教育長のご意見はいかがか。</p>
委員	<p>社会体験学習や職場実習等は、高等部を中心にされている。それを充実させていくという記述だと思う。それぞれの特別支援学校での、ということである。</p>

会長	他に何かあるか。
委員	<p>60 ページの「②防災体制の充実」に「避難行動要支援者リストの作成」とあるが、要支援者名簿は登録制で作成されていると思う。実際の登録者数はどれぐらいなのか。</p> <p>避難時の個別避難計画は、国から努力義務として通知されていると思う。実際に災害を想定して個別の避難計画を策定する難しさがあり、どこの市町村も手が出しにくいのが実情だと思う。地域の民生委員とタッグを組み、地域の方が関わりながら取り組んでいる自治体もある。地域の声を聴きながら取り組んでもらえると、大変有難い。</p>
事務局	<p>避難行動要支援者名簿は、法的に作成が市町村に義務付けられている。有事の際には、障害者手帳1級・2級、療育手帳A等、法で定められた名簿登載の条件に該当する方については全員登録があり、それを利用して安否確認や避難行動支援をする。平常時において提供を同意されている方の名簿については、警察・消防・民生児童委員・自治会・自主防災組織等の支援関係者に提供することとしている。具体的な数字については、今資料を持ち合わせていないので申し上げることはできない。平常時における名簿の提供については、民生児童委員に声かけし、半数くらいの方が提供を受けるとおっしゃってくれている。自治会・自主防災組織に対しても、提供についての周知が防災担当の総務課から行われたようで、提供体制を取って随時お渡ししていると聞いている。</p> <p>個別避難計画作成の取組については、要支援者名簿の中から特に支援が必要な方をリストアップし、その方についてより詳細な個別の避難計画を作成していくことになる。そのリストアップについて、福祉関係と防災関係が連携してどう進めていくべきか検討する段階から始めている。</p>
会長	<p>よろしいか。他にご意見はあるか。</p> <p>他にないようなので、次に進みたい。</p> <p>・第5章 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画</p>
会長	続いて、第5章について事務局より説明願いたい。
事務局	○資料「川西町第4次障害者計画 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 素案 11/7 時点」に基づき、第5章について説明
会長	何かご質問、ご意見はあるか。

委員	<p>78 ページの「ペアレントトレーニング」は、過去にどれくらい受けられたのか。</p> <p>それと、「ペアレントメンター」は県で養成されていて現在も活動中だが、今現在ペアレントメンターとの連携はしているのか。</p>
事務局	<p>まず、「ペアレントトレーニング」実施者数は、令和3年度より前の実績ということか。</p>
委員	<p>そうである。</p>
事務局	<p>担当課が保健センターなので、後ほど調べてご報告したい。</p> <p>「ペアレントメンター」は実績がなく、連携もこれからになる。計画で見込んでいるので、今後の課題として推進したい。</p>
委員	<p>県で育成された人が60～70名おり、活動もされている。本町にもおられるので、是非とも連携を取ってほしい。</p>
会長	<p>他にあるか。</p>
委員	<p>確認したい。65 ページの「児童発達支援センターの設置」に「児童発達支援センターあすか」と記載されているが、この施設は児童発達支援事業所かと思われ、正しくは「わかくさ愛育園」かと思う。</p>
事務局	<p>確かな名称を再度調べて修正したい。</p>
会長	<p>他に何かあるか。</p>
委員	<p>国の方針としては入所施設から地域移行があるが、川西町では聞かない。例えば、就労Bからの移行者数は0で未達成と書いてあるが、どういうことをしたけれども結局未達成だったと書いてほしい。</p> <p>アンケートは必要だと思うが、以前は面談でニーズを吸い上げてくれた。知的障害者は自分の思いをなかなか伝えにくい。面談でニーズを拾いあげてもらえれば。</p>
事務局	<p>次回計画では、面談等も取れ入れながらニーズ調査を行うことについて検討したいと思う。</p> <p>未達成となった事項についての取組の記載については、追記して次回ご提案したい。</p>

会長	他に何かあるか。
委員	アンケートをしているのは良いが、障害種別に応じて質問を設定するといった方法を今後検討してほしい。
事務局	次回の課題としたい。
会長	他に何かあるか。よろしいか。 他にないようなので、次に進みたい。 ・第6章 計画の推進のために
会長	続いて、第6章について事務局より説明願いたい。
事務局	○資料「川西町第4次障害者計画 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画 素案 11/7時点」に基づき、第6章について説明
会長	何かご質問はあるか。よろしいか。 (2) その他
会長	それでは、その他について事務局より説明願いたい。
事務局	今後の予定をお伝えする。本日皆様からいただいたご意見を受けて追記・修正したものを、委員の皆様へ次回第3回策定委員会までに郵送したい。一度お目通しいただき、再度ご意見をいただきたい。 なお、住民の皆様には、パブリックコメントを12月に実施する。 第3回策定委員会は机上配布している案内どおりの日程で、1月31日水曜日14時から役場の202会議室で予定している。次回会議資料は、今回同様1週間程度前に郵送する。
会長	それでは、議事は以上で終了する。事務局にお返すする。 3. 閉会

上記のとおり確認致しました。

令和5年//月30日

議事録署名委員 伊藤 彰夫

議事録署名委員 吉村 雅夫